

地域子ども・子育て支援事業量の見込みについて

1. 放課後児童クラブ【健全育成課】
2. 時間外保育事業【幼保運営課】
3. 一時預かり事業
 - 3-1. 幼稚園預かり保育(1号認定子どもによる不定期の利用)【幼保支援課】
 - 3-2. 幼稚園預かり保育(2号認定子どもによる定期的な利用)【幼保支援課】
 - 3-3. 一時預かり(不定期利用分)【幼保運営課】
 - 3-4. 一時預かり(定期利用分) 【幼保運営課】
4. ファミリー・サポート・センター(子育て援助活動支援事業)【幼保支援課】
5. 病児保育事業【幼保支援課】
6. 地域子育て支援拠点事業【幼保支援課】
7. 利用者支援事業
 - 7-1. 子育て支援コンシェルジュ【幼保支援課】
 - 7-2. こども家庭センター【こども家庭支援課・健康支援課】
8. 子育て短期支援事業
 - 8-1. ショートステイ【こども家庭支援課】
 - 8-2. トワイライトステイ【こども家庭支援課】
9. 妊婦健康診査【健康支援課】
10. 乳児家庭全戸訪問事業【健康支援課】
11. 養育支援訪問事業【健康支援課】
12. 子育て世帯訪問支援事業【こども家庭支援課】
13. 親子関係形成支援事業【こども家庭支援課】

※実費補足給付事業及び多様な主体参入促進事業については、量の見込みを算出する必要なし。

1. 放課後児童クラブ

事業の概要	保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校に就学している児童に対し、授業の終了後に小学校の余剰教室等を利用して適切な遊び及び生活の場を与えて、その健全な育成を図る事業		
本市事業名	子どもルーム・アフタースクール	提供区域	行政区
対象者	小学校に就学している児童		
算出方法	根拠	独自に算出	ニーズ調査
	<p>①1年生の利用見込み率は、R3～R6の利用希望率の伸び率(平均値)をR6実績の利用率に乗じて算出(区別、子どもルーム・アフタースクール別)</p> <p>②2～6年生の利用見込み率は、R3～R6の継続利用率(平均値)を用いて算出</p> <p>③教育委員会企画課の児童推計値(R7～R11)に①・②の利用見込み率を乗じ、見込み量を算出</p>		

【手引き算出値】

(利用者数:人)

		量の見込み(手引き算出)					過年度実績		
		R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R3	R4	R5
低学年	中央区	2,233	2,181	2,130	2,064	2,011	1,797	1,871	1,962
	花見川区	1,822	1,800	1,731	1,699	1,649	1,505	1,573	1,698
	稲毛区	1,859	1,769	1,674	1,607	1,511	1,662	1,734	1,798
	若葉区	1,200	1,157	1,104	1,074	1,063	1,189	1,216	1,237
	緑区	1,472	1,465	1,420	1,386	1,329	1,415	1,401	1,468
	美浜区	1,761	1,767	1,766	1,790	1,801	1,640	1,724	1,842
	全市	10,347	10,139	9,825	9,620	9,364	9,208	9,519	10,005
	対R5比	103%	101%	98%	96%	94%			
高学年	中央区	998	972	958	943	921	432	482	501
	花見川区	1,096	1,085	1,066	1,031	1,018	326	446	485
	稲毛区	1,137	1,104	1,076	1,015	966	385	425	519
	若葉区	731	704	686	660	636	313	335	403
	緑区	892	863	846	812	807	355	395	420
	美浜区	1,196	1,202	1,182	1,157	1,162	376	476	482
	全市	6,050	5,930	5,814	5,618	5,510	2,187	2,559	2,810
	対H30比	215%	211%	207%	200%	196%			



			量の見込み(補正後)				
			R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
補正後	低学年	中央区	2,030	2,069	2,159	2,212	2,312
		花見川区	1,769	1,825	1,908	2,018	2,142
		稲毛区	1,733	1,722	1,702	1,804	1,795
		若葉区	1,198	1,167	1,120	1,060	936
		緑区	1,502	1,587	1,586	1,603	1,580
		美浜区	1,876	1,857	1,848	1,801	1,728
		全市	10,108	10,227	10,323	10,498	10,493
		対H30比	101%	102%	103%	105%	105%
	高学年	中央区	616	621	670	698	789
		花見川区	624	657	712	751	843
		稲毛区	568	559	576	580	577
		若葉区	459	447	430	423	405
		緑区	461	485	480	505	516
		美浜区	607	602	624	626	644
		全市	3,335	3,371	3,492	3,583	3,774
		対R5比	119%	120%	124%	128%	134%

<補正の考え方>

- 過去4か年(R3～R6年度)の利用実績から利用見込み率を算出し、想定児童数に乘じる。

【算出式】 量の見込み = 教育委員会が算出している想定児童数 × 利用見込み率

2. 時間外保育事業(延長保育事業)

事業の概要		保育認定を受けた子どもについて、通常の利用日及び利用時間以外の日及び時間において、認定こども園、保育所等において保育を実施する事業			
本市事業名		延長保育事業		提供区域	行政区
対象者		2号認定子ども(保育利用)、3号認定子ども			
算出方法	根拠	国の「手引き」に基づいて算出			ニーズ調査(就学前)
					問9、問8-2
	① 調査結果から、2号認定(保育利用)及び3号認定に該当する子どもの保護者のうち、施設等の利用終了時間について、18:00以降を希望する者の割合を算出。				
	② R7～R11年度の推計児童数(0～5歳)に①の割合を乗じ、利用者数の見込みを算出。				

【手引き算出値】

(利用者数:人)

	量の見込み(手引き算出)					過年度実績		
	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R3	R4	R5
中央区	1,643	1,640	1,642	1,640	1,664	1,438	1,617	1,562
花見川区	1,368	1,339	1,326	1,309	1,295	1,013	911	1,026
稲毛区	1,078	1,053	1,033	1,023	1,026	875	796	1,064
若葉区	685	670	661	648	634	680	1,080	820
緑区	1,079	1,051	1,037	1,028	1,018	965	1,062	1,227
美浜区	1,187	1,180	1,183	1,173	1,160	1,109	991	1,255
全市	7,040	6,933	6,882	6,821	6,797	6,080	6,457	6,954
対R5比	101%	100%	99%	98%	98%			

3-1. 一時預かり(幼稚園預かり保育:1号認定子どもによる不定期の利用)

事業の概要	家庭において保育を受けることが一時的に困難となった乳幼児について、主として昼間において、認定こども園、幼稚園、保育所、地域子育て支援拠点その他の場所において、一時的に預かり、必要な保護を行う事業		
本市事業名	—	提供区域	行政区
対象者	1号認定子ども		
算出方法	根拠	国の「手引き」に準じて算出 (調査項目が国のひな形と異なるため一部変更)	ニーズ調査(就学前)
			問13、問14
	① 調査結果から、1号認定に該当する子どもの保護者のうち、不定期預かり事業の利用を希望し、かつ、現に一時預かり又は幼稚園預かり保育を利用している者の割合を算出。		
	② 調査結果から、幼稚園預かり保育利用者の年間平均利用日数(希望)を算出。		
	③ R7～R11年度の推計児童数(3～5歳)に①及び②を乗じ、年間延べ利用者数の見込みを算出。		

【手引き算出値】

(年間延べ利用者数/人口)

	量の見込み(手引き算出)					過年度実績		
	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R3	R4	R5
中央区	29,647	28,896	28,513	28,228	28,847	4,784	4,417	4,732
花見川区	31,803	30,885	30,335	29,755	29,351	8,885	9,720	9,393
稲毛区	22,174	20,832	19,799	19,579	19,921	10,639	11,652	11,885
若葉区	19,363	19,149	18,695	18,212	17,633	8,822	8,602	9,435
緑区	22,904	21,956	21,489	21,399	21,244	7,185	7,171	4,989
美浜区	22,516	22,644	22,885	22,589	22,134	11,795	12,177	13,486
全市	148,407	144,362	141,716	139,762	139,130	52,110	53,739	53,920
対R5比	275%	268%	263%	259%	258%			

		量の見込み(補正後)				
		R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
補正後	中央区	15,326	14,937	14,739	14,592	14,912
	花見川区	15,340	14,897	14,631	14,352	14,156
	稲毛区	12,599	11,836	11,249	11,124	11,318
	若葉区	12,623	12,482	12,187	11,872	11,495
	緑区	11,703	11,218	10,979	10,934	10,854
	美浜区	13,433	13,509	13,653	13,477	13,206
	全市	81,024	78,879	77,438	76,351	75,941
	対R5比	150%	146%	144%	142%	141%

<補正の考え方>

年間平均利用日数(希望)を、調査結果から求められた幼稚園預かり保育不定期利用者の
年間平均利用日数(実際)に修正

3-2. 一時預かり(幼稚園預かり保育:2号認定子どもによる定期的な利用)

事業の概要		家庭において保育を受けることが一時的に困難となった乳幼児について、主として昼間において、認定こども園、幼稚園、保育所、地域子育て支援拠点その他の場所において、一時的に預かり、必要な保護を行う事業			
本市事業名		—		提供区域	行政区
事業対象者		2号認定子ども			
算出方法	根拠	国の「手引き」に基づいて算出			ニーズ調査(就学前)
					問7～7-6、問8-1
	① 調査結果から、2号認定(幼稚園利用)に該当する子どもの保護者の年間就労日数を算出。				
	② R7～R11年度の推計児童数(3～5歳)に①を乗じ、年間延べ利用者数の見込みを算出。				

【手引き算出値】

(年間延べ利用者数:人日)

	量の見込み(手引き算出)					過年度実績		
	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R3	R4	R5
中央区	117,392	114,416	112,901	111,770	114,222	30,349	28,020	30,020
花見川区	42,026	40,813	40,086	39,320	38,783	38,195	41,783	40,378
稲毛区	47,646	44,761	42,543	42,070	42,803	37,848	41,453	42,280
若葉区	72,666	71,858	70,158	68,346	66,172	52,422	51,120	56,070
緑区	42,850	41,075	40,201	40,034	39,743	39,039	38,966	27,105
美浜区	46,149	46,410	46,904	46,300	45,366	38,473	39,720	43,986
全市	368,729	359,333	352,793	347,840	347,089	236,326	241,062	239,839
対R5比	154%	150%	147%	145%	145%			

		量の見込み(補正後)				
		R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
補正後	中央区	71,311	69,497	68,518	67,798	69,120
	花見川区	31,765	30,783	30,171	29,623	29,304
	稲毛区	38,357	36,350	34,857	34,461	35,013
	若葉区	59,161	58,371	57,026	55,656	54,222
	緑区	34,772	33,448	32,781	32,596	32,505
	美浜区	52,454	52,022	52,001	51,334	50,907
	全市	287,820	280,471	275,354	271,468	271,071
	対R5比	120%	117%	115%	113%	113%

<補正の考え方>

利用意向日数を、幼稚園預かり保育の利用実績を踏まえた日数に修正

量の見込みにおける利用者と利用園の所在区の分布をR4実績を踏まえ、所在区に修正

3-3. 一時預かり(不定期利用分)

事業の概要	家庭において保育を受けることが一時的に困難となった乳幼児について、主として昼間において、認定こども園、幼稚園、保育所、地域子育て支援拠点その他の場所において、一時的に預かり、必要な保護を行う事業		
本市事業名	一時預かり	提供区域	行政区
対象者	小学校就学前までの子どもで、通常保育の対象でない者		
算出方法	根拠	国の「手引き」に準じて算出 (調査項目が国のひな形と異なるため一部変更)	ニーズ調査(就学前) 問13、問14
	①国の「手引き」に準じて利用希望の割合や年間平均利用日数から年間延べ利用者見込みを算出。 ②調査結果を「一時預かり事業」「ファミリーサポート」「トワイライト」の3事業で按分し、「一時預かり事業」の「量の見込み」を算出。		

【手引き算出値】

(年間延べ利用者数:人日)

	量の見込み(手引き算出)					過年度実績		
	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R3	R4	R5
中央区	127,715	128,137	128,648	128,719	130,386	3,337	3,666	2,317
花見川区	69,606	68,306	67,916	67,223	66,649	507	624	545
稲毛区	74,189	73,178	72,357	71,682	71,737	2,310	2,330	2,804
若葉区	62,393	60,890	60,259	59,186	58,093	753	1,156	1,753
緑区	77,609	75,985	75,064	74,347	73,571	2,324	2,189	2,299
美浜区	88,320	87,472	87,544	86,956	86,202	1,672	2,058	2,325
全市	499,832	493,968	491,788	488,113	486,638	10,903	12,023	12,043
対R5比	4150%	4102%	4084%	4053%	4041%			

		量の見込み(補正後)				
		R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
補正後	中央区	10,674	10,674	10,674	10,674	10,797
	花見川区	5,779	5,628	5,590	5,514	5,439
	稲毛区	4,251	4,134	4,056	4,017	4,037
	若葉区	6,020	5,886	5,796	5,706	5,571
	緑区	3,197	3,119	3,081	3,061	3,023
	美浜区	4,314	4,291	4,291	4,267	4,220
	全市	34,235	33,732	33,488	33,239	33,087
	対R5比	284%	280%	278%	276%	275%

<補正の考え方>

利用人数の伸び率と、利用を断った人数を考慮して計算。

①調査結果から、不定期預かり事業の「一時預かり」の利用を希望している者の割合を算出。

②調査結果から、年間利用希望日数の平均を算出。

③各年度の推計児童数(0~5歳)に①及び②を乗じ、年間延べ利用者数の見込みを算出。

※「幼稚園預かり保育(3-1、3-2)」の見込みは差し引く。

3-4. 一時預かり(定期利用分)

事業の概要		家庭において保育を受けることが一時的に困難となった乳幼児について、主として昼間において、認定こども園、幼稚園、保育所、地域子育て支援拠点その他の場所において、一時的に預かり、必要な保護を行う事業（就労に対応し、定期的に利用するもの）		
本市事業名		一時預かり(定期利用)	提供区域	行政区
対象者		32時間以上64時間未満／月の就労等により保育が必要な子ども		
算出方法	根拠	ニーズ調査に基づき、独自に算出 (手引に算出方法の記載なし)	ニーズ調査(就学前)	
			問14	
	①調査結果から以下のア～ウを全て満たす者の割合を算出。 以下のア～ウを全て満たす者。 ア 日常的な保育園等の利用を希望している者 イ 両親どちらかが週4日以上就労しているまたは予定している者 ウ 両親どちらかが週2～3日就労しているまたは予定している者 ②各年度の推計児童数(0～5歳)に①を乗じ、利用者数の見込みを算出。 ③②に利用可能月数を乗じ、さらに公立のR4～R5実績から算出した月の平均利用日数(8.9日)を乗じ、年間延べ利用者数の見込みを算出。			

(年間延べ利用者数:人日)

		量の見込み(補正後)					過年度実績		
		R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R3	R4	R5
補正後	中央区	4,851	4,851	4,851	4,851	4,877	3,202	2,723	2,686
	花見川区	4,494	4,370	4,361	4,237	4,228	759	839	991
	稲毛区	3,916	3,898	3,774	3,765	3,765	3,355	2,716	3,440
	若葉区	6,061	5,937	5,812	5,687	5,562	431	566	1,012
	緑区	5,117	4,984	4,869	4,860	4,851	2,702	2,341	2,615
	美浜区	4,646	4,637	4,637	4,628	4,610	2,549	3,039	3,127
	全市	29,085	28,677	28,304	28,028	27,893	12,998	12,224	13,871
	対R5比	210%	207%	204%	202%	201%			

4. ファミリー・サポート・センター(子育て援助活動支援事業)

事業の概要		乳幼児や小学生等の児童を有する子育て中の保護者を会員として、児童の預かり等の援助を受けることを希望する者と当該援助を行うことを希望する者との相互援助活動に関する連絡、調整を行う事業			
本市事業名		ファミリー・サポート・センター		提供区域	全市
対象者		小学生までの子ども			
算出方法	根拠	未就学児	国の「手引き」に準じて算出 (調査項目が国のひな形と異なるため一部変更)	ニーズ調査(就学前)	
				問13、問14	
		就学児	独自に算出 (任意で実施した小学生向け調査結果を使用)	ニーズ調査(小学生)	
				問9	
	【就学前】 ①「一時預かり」+「ファミリー・サポート・センター」+「トワイライトステイ」の年間延べ利用者数の見込みを算出。 ② 調査結果から、現在「ファミリー・サポート・センター」を利用していると回答した者の割合を算出して①に乘じ、「ファミリー・サポート・センター」の年間延べ利用者数の見込みを算出。				
【就学児】 ① 調査結果から、希望する放課後の過ごし方として、「ファミリー・サポート・センター」を選択した者の割合を算出し、R7～R11年度の推計児童数(6～8歳)に乘じ、利用者数の見込みを算出。 ② 調査結果から、1週当たり平均利用希望日数を算出し、1年＝35週として年間平均利用希望日数に換算。 ③ ①に②を乘じて、年間延べ利用者数の見込みを算出。					

【手引き算出値】

(年間延べ利用者数:人日)

		量の見込み(手引き算出)					過年度実績		
		R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R3	R4	R5
就学前	中央区	6,237	6,258	6,283	6,286	6,367	530	622	1,038
	花見川区	3,399	3,336	3,317	3,283	3,255	629	572	283
	稲毛区	3,623	3,574	3,534	3,501	3,503	675	539	724
	若葉区	3,047	2,974	2,943	2,890	2,837	133	121	270
	緑区	3,790	3,711	3,666	3,631	3,593	176	140	159
	美浜区	4,313	4,272	4,275	4,247	4,210	809	929	1,088
	全市	24,410	24,123	24,017	23,837	23,765	2,952	2,923	3,562
就学後	中央区	6,347	6,191	6,071	5,930	5,786	502	722	539
	花見川区	5,037	4,983	4,847	4,717	4,621	259	135	300
	稲毛区	4,983	4,793	4,609	4,381	4,145	584	391	365
	若葉区	4,208	4,058	3,912	3,785	3,694	23	90	160
	緑区	4,788	4,693	4,576	4,426	4,325	199	69	162
	美浜区	5,050	5,071	5,023	5,004	5,029	624	305	485
	全市	30,413	29,789	29,038	28,243	27,600	2,191	1,712	2,011
	対R5比	1512%	1481%	1444%	1404%	1372%			



			量の見込み(補正後)				
			R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
補正後	就学前	中央区	2,002	2,026	2,066	2,072	2,057
		花見川区	1,054	1,067	1,088	1,091	1,083
		稲毛区	1,131	1,145	1,167	1,171	1,162
		若葉区	932	943	962	965	958
		緑区	1,169	1,183	1,206	1,210	1,201
		美浜区	1,353	1,369	1,395	1,400	1,389
		全市	7,641	7,733	7,884	7,909	7,850
		対R5比	215%	217%	221%	222%	220%
	就学後	中央区	2,180	2,136	2,077	2,034	1,975
		花見川区	1,742	1,707	1,660	1,625	1,578
		稲毛区	1,648	1,615	1,570	1,537	1,493
		若葉区	1,408	1,380	1,342	1,313	1,276
		緑区	1,637	1,604	1,561	1,528	1,484
		美浜区	1,815	1,778	1,730	1,693	1,644
		全市	10,430	10,220	9,940	9,730	9,450
		対R5比	519%	508%	494%	484%	470%

<補正の考え方>

- 就学児について、調査結果により算出された利用事業量が、実際の活動件数と乖離していることから、当該乖離について、量の見込みを補正する必要がある。
- 就学児について、調査結果で算出した不定期預かり事業の利用者数の見込みに、利用したいサービスとしてファミサポを選択した割合を乗算。
- 就学児について、本事業の対象は小学校6年生までであるが、主な利用児童が低学年であることから、推計児童数を6～8歳とした。
- 就学児について、1年＝週休日・長期休業等を除いた35週とした。

5. 病児保育事業

事業の概要		病児について、病院・保育所等に付設された専用スペース等において、看護師等が一時的に保育等する事業		
		病児・病後児保育事業	提供区域	行政区
対象者		幼稚園・保育所等に通っている子ども及び低学年までの小学生		
算出方法	根拠	国の「手引き」に準じて算出	ニーズ調査(就学前)	
			問12～12-2	
	① 調査結果から、以下の合計が回答者数に占める割合を算出。 ア. 病気やケガで保育施設等を利用できず、父母のいずれかが仕事を休んだ者のうち、「できれば病児・病後児を預かってくれる保育施設などに預けたかった」と回答した者 イ. 病気やケガで保育施設等を利用できなかったときに、病児・病後児保育を利用した者 ② 上記アの利用希望日数から、年間平均利用日数を算出 ③ R7～R11年度の推計児童数(0～5歳)のうち保育の必要性がある者の数に①及び②を乗じ、年間延べ利用者数の見込みを算出。 ※本事業の対象は小学校低学年までであるが、ここでは未就学児について算出。			

【手引き算出値】

(年間延べ利用者数:人日)

		量の見込み(手引き算出)					過年度実績		
		R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R3	R4	R5
補正前	中央区	11,432	11,411	11,421	11,406	11,572	879	675	1,194
	花見川区	7,631	7,465	7,396	7,300	7,226	264	428	583
	稲毛区	6,265	6,115	5,996	5,938	5,963	318	321	706
	若葉区	5,770	5,649	5,574	5,464	5,347	506	503	540
	緑区	7,974	7,773	7,664	7,600	7,526	991	1,046	1,763
	美浜区	6,885	6,839	6,857	6,804	6,728	302	255	262
	全市	45,957	45,252	44,908	44,512	44,362	3,260	3,228	5,048
	対R5比	910%	896%	890%	882%	879%			



		量の見込み(補正後)				
		R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
補正後	中央区	4,331	4,354	4,410	4,459	4,443
	花見川区	2,945	2,960	2,998	3,032	3,021
	稲毛区	2,425	2,438	2,469	2,497	2,488
	若葉区	2,079	2,089	2,116	2,140	2,132
	緑区	2,945	2,960	2,998	3,032	3,021
	美浜区	2,600	2,615	2,649	2,676	2,668
	全市	17,325	17,416	17,640	17,836	17,773
	対R5比	343%	345%	349%	353%	352%

<補正の考え方>

- 算出方法①についてニーズ調査の結果により算出された年間利用日数が、実際の利用日数と乖離していることから、当該乖離について、量の見込みを補正する。
- 算出方法①について、ア.「病気やケガで保育施設等を利用できず、父母のいずれかが仕事を休んだ者のうち、できれば病児・病後児を預かってくれる保育施設などに預けたかった」と回答した者のうちで、イ.「病気やケガで保育施設等を利用できなかったときに、病児・病後児保育を利用した」と回答した者がいたため、その部分を除外する。

6. 地域子育て支援拠点事業

事業の概要		乳幼児及びその保護者が相互の交流を行う場所を開設し、子育てについての相談、情報の提供、助言その他の援助を行う事業	
本市事業名		子育て支援館、地域子育て支援センター、子育てリラックス館	提供区域 行政区
対象者		小学校就学前の子ども	
算出 方法	根拠	国の「手引き」に準じて算出 (調査項目が国のひな形と異なるため一部変更)	ニーズ調査(就学前)
			問16～16-2
	① 調査結果から、以下の合計が回答者数に占める割合を算出。 ア. 地域子育て支援拠点事業を利用している者 イ. 地域子育て支援拠点事業を利用していないが、「今後は利用したい」と回答した者 ② 上記ア・イの利用希望日数及び利用日数から、1月当たり平均利用日数を算出し、12を乗じて年間平均利用日数に換算。 ③ R7～R11年度の推計児童数(0～2歳)に①及び②を乗じ、年間延べ利用者数の見込みを算出。 ※ 本事業の対象は小学校就学前の子どもであるが、国の手引に基づき、0～2歳児のみについて算出。		

【手引き算出値】

(年間延べ利用者数:人日)

		量の見込み(手引き算出)					過年度実績		
		R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R3	R4	R5
補正前	中央区	85,716	87,564	88,848	89,460	90,144	46,752	70,825	96,279
	花見川区	45,024	44,400	44,376	44,088	43,812	13,687	17,951	19,233
	稲毛区	42,312	43,044	43,572	43,200	42,840	11,051	18,929	23,197
	若葉区	36,420	35,268	35,184	34,728	34,368	15,692	21,002	22,243
	緑区	59,568	59,112	58,764	57,996	57,288	14,994	26,082	29,838
	美浜区	40,044	39,180	38,928	38,856	38,880	15,775	27,031	26,585
	全市	309,084	308,568	309,672	308,328	307,332	117,951	181,820	217,375
対R5比		142%	142%	142%	142%	141%			



		量の見込み(補正後)				
		R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
補正後	中央区	59,719	59,513	59,709	59,404	59,168
	花見川区	30,068	29,964	30,064	29,910	29,791
	稲毛区	29,024	28,924	29,020	28,871	28,757
	若葉区	23,804	23,722	23,800	23,679	23,584
	緑区	39,674	39,536	39,667	39,464	39,308
	美浜区	26,519	26,427	26,514	26,379	26,274
	全市	208,808	208,086	208,774	207,707	206,882
対R5比		96%	96%	96%	96%	95%

<補正の考え方>

・国手引きにおいては、利用している者が利用日数を増やしたい場合の当該増加日数分をニーズに反映しているが、現状において、利用者は希望どおりの日数を利用できていると考えられることから、本市は反映しないこととした。

7-1. 利用者支援事業(子育て支援コンシェルジュ)

事業の概要		子ども又はその保護者の身近な場所で、教育・保育施設や地域の子育て支援事業等の情報提供及び必要に応じ相談・助言等を行うとともに、関係機関との連絡調整等を実施する事業		
本市事業名		子育て支援コンシェルジュ	提供区域	行政区
対象者		子どもの保護者(主に就学前の子ども)		
算出方法	根拠	独自に算出 (手引に算出方法の記載なし)	ニーズ調査	
	相談受付時間の延長及び地域子育て拠点施設への出張相談の実施回数増等、市民が十分にサービスを受けられるような体制に必要な人数を算出した。			

(配置数:か所)

	量の見込み					過年度実績		
	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R3	R4	R5
中央区	2	2	2	2	2	1	1	1
花見川区	1	1	1	1	1	1	1	1
稲毛区	2	2	2	2	2	2	2	2
若葉区	1	1	1	1	1	1	1	1
緑区	1	1	1	1	1	1	1	1
美浜区	1	1	1	1	1	1	1	1
全市	8	8	8	8	8	7	7	7
対R5比	114%	114%	114%	114%	114%			

7-2. 利用者支援事業(こども家庭センター)

事業の概要		子育て支援担当部署と連携を図りながら、個々の妊産婦の不安や負担に寄り添った、きめ細やかな支援を実施し、安心して子育てができるように包括的な支援を行う拠点となる事業		
本市事業名		こども家庭センター	提供区域	行政区
対象者		全ての妊産婦、子育て世帯、こども		
算出方法	根拠	ニーズ調査		
	こども家庭センターの設置について検討中 （「母子健康包括支援センター」「子ども家庭総合支援拠点」は各区に設置済み）			

(配置数:か所)

	量の見込み					過年度実績		
	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R3	R4	R5
中央区	検討中					0	0	0
花見川区						0	0	0
稲毛区						0	0	0
若葉区						0	0	0
緑区						0	0	0
美浜区						0	0	0
全市						0	0	0
対R5比								

8-1. ショートステイ(子育て短期支援事業)

事業の概要		家庭において養育を受けることが一時的に困難となった児童について、児童養護施設等に入所させ、必要な保護を行う事業		
本市事業名		ショートステイ	提供区域	全市
対象者		18歳未満の子ども		
算出方法	根拠	独自に算出 (手引による算出方法では有意な結果が得られない)		ニーズ調査(就学前)
		過年度の実績と利用希望者のうちで利用できなかった者の人数を勘案して算出。令和8年度以降は具体的な増加見込みを立てることが困難であるため、令和7年度の量の見込みと同一としている。		—

(年間延べ利用者数:人日)

		量の見込み					過年度実績		
		R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R3	R4	R5
	全市	1,351	1,351	1,351	1,351	1,351			951
	対R5比	142%	142%	142%	142%	142%			
	参考 (18歳まで)	1,378	1,378	1,378	1,378	1,378	696	791	970

8-2. トワイライトステイ(子育て短期支援事業)

事業の概要		保護者の夜間・休日就労等の理由により家庭において養育を受けることが困難な児童について、児童養護施設等に入所させ、必要な保護を行う事業		
本市事業名		トワイライトステイ	提供区域	全市
対象者		2歳以上18歳未満の子ども		
算出 方法	根拠	独自に算出 (手引による算出方法では有意な結果が得られない)	ニーズ調査(就学前)	
			—	
	過年度の実績と利用希望者のうちで利用できなかった者の人数を勘案して算出。			

(年間延べ利用者数:人日)

		量の見込み					過年度実績		
		R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R3	R4	R5
	全市	759	745	732	717	707	644	827	736
	対R5比	103%	101%	99%	97%	96%			

9. 妊婦健康診査

事業の概要		妊婦の健康の保持及び増進を図るため、妊婦に対する健康診査として、①健康状態の把握、②検査計測、③保健指導を実施するとともに、妊娠期間中の適時に必要に応じた医学的検査を実施する事業		
本市事業名		妊婦健診	提供区域	全市
対象者		全ての妊婦		
算出方法	根拠	独自に算出 (手引に算出方法の記載なし)		ニーズ調査
	【対象者数(妊娠届出数)見込み】 R3～R5年度の妊娠届出数と女性の推計人口(15歳～49歳)から妊娠届出数の平均割合(3.07%)を算出し、R7～R11年度の将来人口推計値【出典:千葉市将来人口推計(令和4年3月推計)】に平均割合を乗じて算出。 【受診回数の見込み】 R3～R5年度の妊婦健診受診実績から妊婦1人当たりの平均健診受診回数を算出(12回)。 R7～R11年度の妊娠届出数見込みに平均受診回数を乗じて算出。			

(対象者数:人)

	量の見込み					過年度実績		
	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R3	R4	R5
全市	5,760	5,706	5,652	5,598	5,545	6,280	6,023	5,850
対R5比	98%	97%	96%	95%	94%			

(延べ受診回数:回)

	量の見込み					過年度実績		
	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R3	R4	R5
全市	69,120	68,472	67,824	67,176	66,540	74,706	72,863	69,274
対R5比	99%	98%	97%	96%	96%			

10. 乳児家庭全戸訪問事業

事業の概要		生後4か月までの乳児のいる全ての家庭を訪問し、子育て支援に関する情報提供や養育環境等の把握を行う事業		
本市事業名		乳児家庭全戸訪問事業	提供区域	行政区
対象者		生後4ヶ月までの乳児のいる全ての家庭		
算出方法	根拠	独自に算出 (手引に算出方法の記載なし)	ニーズ調査	
R3～R5年度の出生数に対する乳児家庭全戸訪問の訪問実績の平均割合(85.3%)を算出し、R7～R11年度の出生数の推計値に、訪問実績の平均割合を乗じて算出。				

(訪問件数:人)

	量の見込み					過年度実績		
	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R3	R4	R5
中央区	1,254	1,259	1,269	1,280	1,288	1169	1,143	1,228
花見川区	847	841	835	831	826	979	971	871
稲毛区	753	747	740	734	728	760	811	718
若葉区	665	654	648	640	634	748	626	655
緑区	751	741	730	723	714	754	779	848
美浜区	710	707	706	705	709	746	689	685
全市	4,980	4,949	4,928	4,913	4,899	5,156	5,019	5,005
対R5比	100%	99%	98%	98%	98%			

11. 養育支援訪問事業

事業の概要		養育支援が特に必要な家庭に対して、その居宅を訪問し、養育に関する指導・助言等を行うことにより、当該家庭の適切な養育の実施を確保する事業		
本市事業名		養育支援訪問事業	提供区域	行政区
対象者		養育支援が特に必要な家庭(妊産婦を含む)		
算出方法	根拠	独自に算出 (手引に算出方法の記載なし)	ニーズ調査	
	【妊産婦】			
	①R3～R5年度の妊娠届出実績と妊産婦訪問実績から、妊娠届出数に占める訪問件数の平均割合(7.6%)を算出。			
②R3～5年度の妊娠届出数と女性の推計人口(15歳～49歳)から妊娠届出数の平均割合(3.07%)を算出し、R7～R11年度の女性の将来人口推計値【出典:千葉市将来人口推計(令和4年3月推計)】に妊娠届出数の平均割合を乗じて、各区の妊娠届出数の見込みを算出。				
③②で算出した妊娠届出数の見込みに①の訪問件数の平均割合を乗じて算出。				
【妊産婦以外】				
R3～R5年度の妊産婦以外の訪問実績から、R3～R5年度の0～17歳までの人口に占める訪問件数の平均割合(0.85%)を算出し、R7～11年度の推計人口(0～17歳)に訪問件数の平均割合を乗じて算出。				

【妊産婦以外】

R3～R5年度の妊産婦以外の訪問実績から、R3～R5年度の0～17歳までの人口に占める訪問件数の平均割合(0.85%)を算出し、R7～11年度の推計人口(0～17歳)に訪問件数の平均割合を乗じて算出。

(訪問件数:人)

	量の見込み					過年度実績		
	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R3	R4	R5
中央区	348	345	341	338	337	492	533	412
花見川区	264	261	257	255	251	218	230	214
稲毛区	248	242	237	232	228	348	283	311
若葉区	212	207	203	199	196	280	386	276
緑区	237	232	229	225	222	145	154	81
美浜区	252	250	247	246	244	225	214	134
全市	1,561	1,537	1,514	1,495	1,478	1,708	1,800	1,428
対R5比	109%	108%	106%	105%	104%			

12. 子育て世帯訪問支援事業

事業の概要		要支援児童の保護者等に対し、その居宅において、子育てに関する情報の提供並びに家事及び養育に係る援助その他の必要な支援を行う事業		
本市事業名		子育て世帯訪問支援事業	提供区域	全市
対象者		要支援児童等とその保護者、特定妊婦等、ヤングケアラー世帯		
算出 方法	根拠	独自に算出	ニーズ調査(就学前)	
			—	
	①支援対象として各区が希望する世帯数を把握 ②一世帯当たり・週当たりの平均利用日数を算出し、一世帯・年度当たりの平均利用日数に換算 ※令和8年度以降は具体的な増加見込みを立てることが困難であるため、令和7年度の量の見込みと同一としている。			

(年間延べ利用者数:人日)

		量の見込み					過年度実績		
		R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R3	R4	R5
	全市	7,720	7,720	7,720	7,720	7,720			
	対R5比								

13. 親子関係形成支援事業

事業の概要		親子間における適切な関係性の構築を目的として、児童及びその保護者に対し、当該児童の心身の発達の状況等に応じた情報の提供、相談及び助言その他の必要な支援を行う事業		
本市事業名		親子関係形成支援事業	提供区域	全市
対象者		親子の関係性やこどもとの関わり方に不安を抱える要支援児童等の保護者		
算出方法	根拠	独自に算出	ニーズ調査(就学前)	
			—	
	・要保護児童世帯・要支援児童世帯のうち、保護者の育児不安、育児しつけ相談、性格行動相談がある、児童相談所から引き継いだ児童がいる世帯数とした。 ※令和8年度以降は具体的な増加見込みを立てることが困難であるため、令和7年度の量の見込みと同一としている。			

(年間延べ利用者数:人)

		量の見込み					過年度実績		
		R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R3	R4	R5
	全市	117	117	117	117	117			
	対R5比								